

平成30年度 事業実績報告書

令和1年6月

社会福祉法人

早島町社会福祉協議会

目 次

◆早島町社会福祉協議会 平成30年度事業総括 (P.1~5)

- ▶基本理念 (P.1)
- ▶経営理念 (P.1)
- ▶基本姿勢 (P.1)
- ▶社協・事務局重点項目(重点目標)及び達成度 (P.2)
- ▶介護事業部 セクション別重点項目(重点目標)及び達成度 (P.3~5)

◆平成30年度事業実績 (P.6~37)

▶活動内容 (P.6~)

I. 会務の運営

1. 役職員による法人運営 (P.6)

- | | |
|--------------------|------------------|
| (1) 理事会の開催 | (4) 内部監査の実施 |
| (2) 評議員会の開催 | (5) 役員先進地視察研修の実施 |
| (3) 評議員選任・解任委員会の開催 | (6) 人事管理制度の推進 |

II. 地域福祉事業

1. 広報事業活動の推進 (P.12)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| (1) 社協だよりの発行 | (4) 早島の匠ミニギャラリー |
| (2) ホームページによる福祉情報の発信 | |
| (3) 地域福祉活動計画推進状況の周知 | |

2. 会費・寄付・募金の収受 (P.13)

- (1) 住民会員・会費の募集
- (2) 一般寄付等の受納
- (3) 共同募金運動の推進

3. 住民参画型生活支援活動の検討 (P.14)

- (1) 外出支援活動の検討
- (2) 生活支援活動の検討
- (3) 生活支援サポーターの養成(新)

4. 福祉活動員活動の支援 (P.16)

- (1) 福祉活動員協議会活動の支援

5. 地区福祉活動の推進（P.17～）

- (1) 高齢者給食サービス活動の推進
- (2) ふれあい・いきいきサロン活動の推進
- (3) 夏季一斉友愛訪問活動の実施
- (4) 年末大掃除おたすけサービスの実施
- (5) 地区福祉活動の支援

6. 福祉啓発（教育）の推進（P.20）

- (1) 夏のボランティア体験の実施
- (2) 福祉教育への協力支援
- (3) コミュニケーション麻雀の普及推進
- (4) 障がい者作品展の開催
- (5) 福祉映画会の開催

7. ボランティア活動の推進（P.23）

- (1) ボランティア保険の加入支援
- (2) 福祉ボランティアグループ活動の支援
- (3) ボランティア活動に関する相談・調整
- (4) ボランティア調整機能等の検討

8. 福祉団体活動の支援（P.25）

- (1) 福祉当事者団体・福祉団体活動の支援

9. 在宅福祉サービス事業の実施（P.26）

- (1) 福祉有償運送事業の実施
- (2) 福祉用具貸出サービスの実施

10. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助（P.27）

- (1) 生活福祉資金貸付事業の実施
- (2) 日常生活自立支援事業の実施

11. 地域福祉センターの管理運営（P.28）

- (1) 施設利用の促進
- (2) 備品・用具の貸出
- (3) 施設改修の実施

Ⅲ. 介護サービス事業

1. 居宅介護支援事業（P.28～）

- (1) 介護保険-居宅介護支援事業の実施
- (2) 介護予防居宅介護支援事業の実施^①

2. 通所介護事業（P.30～）

- (1) 介護保険-通所介護事業の実施
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- (3) 介護保険外サービス事業の実施

(4) ボランティア協力(受入)の実施

3. 訪問介護事業 (P.33~)

- (1) 介護保険-訪問介護事業の実施
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- (3) 介護保険外サービス事業の実施
- (4) 障がい者総合支援-居宅介護事業の実施
- (5) 障がい者総合支援-移動支援事業の実施

▶補足／各種地域福祉事業の財源

1. 共同募金

◇一般配分金

- ❖社協だより発行 (P.12)
- ❖福祉活動員協議会活動の支援 (P.16)
- ❖夏のボランティア体験事業 (P.20)
- ❖福祉ボランティアグループ活動支援 (P.24)

◇特別配分金

- ❖外出支援活動の検討 (P.14)
- ❖地区福祉活動の支援 (P.20)

◇歳末たすけあい配分金

- ❖社協だより発行 (P.12)
- ❖ふれあい・いきいきサロン活動の推進 (P.17)
- ❖夏季一斉友愛訪問活動 (P.19)
- ❖年末大掃除おたすけサービス (P.20)
- ❖福祉映画会の開催 (P.22)
- ❖障がい者作品展の開催 (P.22)
- ❖福祉当事者団体活動の支援 (P.25)

2. ほほえみ基金

- ❖社協だより発行 (P.12)
- ❖早島の匠・ミニギャラリー (P.13)
- ❖福祉活動員協議会活動の支援 (P.16)
- ❖ふれあい・いきいきサロン活動の推進 (P.17)

3. 地域福祉活動基金

- ❖ふれあい・いきいきサロン活動の推進 (P.17)

早島町社会福祉協議会 平成30年度事業総括

▶本会の基本理念

お互いが支えあい 安心して 幸せに暮らせる 住みよい地域をつくります

▶本会の経営理念

本会役職員は、基本理念に則り地域福祉事業の推進と介護保険事業の充実・発展を図るとともに、安定した法人運営に心がけてまいります。

▶本会の基本姿勢

高齢化の進展と制度の変革は本会の経営にとっても大きな課題ですが、新たな事業展開の契機として捉え、地域福祉事業と経営基盤である介護保険事業・総合事業の相乗効果が図れる法人運営を行ってまいります。

地域福祉事業では、「地域福祉活動計画」の9つの活動目標への取り組みを点検評価していくとともに、早島町や関係機関と連携を密にして地域支え合い活動、生活支援サービス、担い手育成等が円滑に進むよう努めてまいります。

介護保険事業では、30年度からの第7期介護保険制度のもと、介護予防・日常生活支援総合事業が本格実施され、経営上は厳しい環境になりますが、事業間の効率的連携により収支の改善に努めてまいります。新制度は公的制度と互助活動がより密接な関係として期待されているため、車の両輪である行政と実効性のある連携を進め、利用者本位に立った良質で安心感のあるサービスを提供してまいります。

これらを総合的に展開していくため、社会福祉法人に求められる地域貢献、利用者の利便性向上のための環境改善、職員の働き方改善・処遇改善に取り組むとともに、組織の適正な規律のもと役職員一人ひとりが足元を固め、信頼される法人運営に努めてまいります。

(平成30年度事業計画書より抜粋)

■ 社協・事務局重点項目（重点目標）及び達成度

事務局重点項目（重点目標）	達成度
<p>1) 地域福祉活動計画に基づく福祉活動・事業の推進 『はやしまほっとプラン』の4年目の事業活動として、引き続き、ゴミ出しや移動支援、買い物支援等の『住民協働の生活支援活動』の具体的検討と試行を住民主体で進めます。また、次期早島町地域福祉計画方針を見据え、『第2次はやしまほっとプラン』策定に向けた現プランの評価作業に着手します。</p> <p>加えて、町内における社会福祉法人連携による地域貢献を進めるべく、福祉施設との具体的連携調整を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の社会福祉法人連携に向け、各施設への打診を行ったが、具体的な展開は、次年度への持ち越しとなった。 ・ 早島町からの受託事業で、「生活支援サポーター養成事業」を開催。定員超えの受講者が集まり、福祉活動の新たな人材発掘の機会となった。 ・ 『はやしまほっとプラン』に基づき、ゴミ出し等の生活支援活動の試行に努めた。同プランの住民目線での試行検証の場として、新たに町民自由参加の「（仮称）生活支援活動を考える会」を立ち上げ。今後のより住民主体で柔軟な活動推進をし得る、住民協働の協議の場づくりができた。 (B)
<p>2) 総務業務の効率化と人事評価制度の見直し 昨年度導入した人事管理システムの適切な運用や、調整や集約に時間を要する事務処理方法の見直しやデータ処理を進め、総務業務の効率化を行います。</p> <p>また、制度導入後5年経過した人事評価制度を点検し、現況に見合った評価シートの内容や運用方法の見直しを行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画人事による2名の新任職員の受入れがあったが、部署内での毎日ミーティングや個々の週間計画作成による情報共有と都度の役割分担に努め、新体制での業務推進を概ね滞りなく終えた。 ・ 職員体制増強を想定した事務所内の備品の入れ替えやレイアウト変更を実施。事務所内に福祉活動者との打ち合わせスペースの確保等、業務上の機能性や来館者の利便性が向上した。 ・ 総務・庶務業務の効率化に向け導入した人事管理システムは、運用に向けた様式作成やデータ入力等の下準備に時間を要し、本格稼働は次年度へ持ち越しとなった。 (B)

<達成度基準>

S：目標をはるかに上回る（120%以上）

A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満）

B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満）

C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）

D：目標をかなり下回る（80%未満）

■介護事業部 セクション別重点項目（重点目標）及び達成度

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
居宅介護支援	1) 住民協働の生活支援活動協議への参画 地域住民と連携した利用者の生活支援、社会参加の促進に努めるべく、『住民協働の生活支援活動』の協議へ参画し、現場ニーズの調整を行います。 また、早島町の在宅介護支援の中核を担い、社会福祉協議会に所属する介護支援専門員として、事業所や職員がいかに社会資源としての機能を果たせるかを模索します。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、早島町が行う包括ケア懇話会や個別ケア会議、介護支援専門員の研修へ積極的に参画した。また、新たに早島町から介護予防プラン作成事業を受託し、地域包括支援センターと連携しながら、円滑な新事業の業務推進が図れた。 個別のケース援助について、継続して地区の民生委員や福祉活動員等の関係づくりや情報共有に努め、ご利用者の地域での日常の見守りと情報共有や、事務局を介した生活支援活動との連携、社会参加誘導を図った。(B)
	2) 職員相互での業務補完と援助相談体制の強化 昨年度の職員の異動や新たな業務受託の開始に伴う体制変更後の業務をより円滑に進めるべく、新任と中堅職員間相互の業務フォローを進めます。 また、認知症高齢者や看取りの事例など、ご利用者の状況の変化に合わせ、在宅介護の見極めや適切なケアが展開できるよう、主任介護支援専門員を中心に援助方針の相談や定期的な事例検討、援助の振り返り評価を行える機会を確保します。	<ul style="list-style-type: none"> 独居の認知症高齢者や家族関係に葛藤ある高齢者世帯等、援助が困難なケースが複数あり、苦慮しながらも地域住民や関係機関の協力を仰ぎ援助を進める中で、具体的な対応手段や在宅生活の見通し立てを内部で相談共有し、個々や組織としての対応力向上に努めた。 定年退職や事業の拡充により、3名の新任職員を迎えたが、主任介護支援専門員や中堅職員が積極的にサポートを行い、個別ケースの支援状況の共有や助言により、円滑な引継ぎ対応が行えた。(B)
	<運営状況総括> <ul style="list-style-type: none"> 要介護認定者の新規契約件数は、受託した要支援件数を除くと、前年度比3件増の58件。契約解除件数は62件（前年度+1）。職員の入替り等で新規受入れができない期間があり、月平均請求件数は8件減少し、196件であった。 契約解除件数の内訳は、21件が永眠、入所が19件、長期入院と軽度化（要支援）が各7件。他は転出等。 要支援認定者は新規に16件受入れ。12件が契約解除し、内4件が重度化（要介護）、他は移管、永眠。 ∴平成30年度収支差引額：3,387千円（平成29年度収支差引額：3,387千円）	

<達成度基準>

S：目標をはるかに上回る（120%以上）

C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）

A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満）

D：目標をかなり下回る（80%未満）

B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満）

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
デイサービスセンター	1) 利用者・家族の満足度の向上 昨年度に引き続き、高齢者の健康及び認知機能の維持に重要とされている「水分補給」「運動」「口腔ケア」の3つに重点を置いたケアを継続すると共に、基本的な介護技術の職場内研修と接遇についての職場内評価を定期的に行ない利用者とその家族が尊重された立場で安心して利用していただける事業所を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 「水分」「口腔ケア」の実施は定着したが、内容が不十分な事がある。「運動」も十分な運動量が確保できていない利用者がある。 職場内研修と個別の助言で介護技術の標準化を図ったが忙しいと基本がおろそかになる事があった。 今年度は重度、末期、精神疾患などの利用者があり、その援助を通じ、介護のコツや疾患の基本知識の習得に繋がった。 アンケートで言葉遣いや挨拶が職員によって違うという回答があったが、満足度は88%が「満足」12%が「どちらかといえば満足」という結果であった。(A)
	2) 働き易い職場環境の整備 職員一人一人の強みを活かした業務分担と、記録や計画書作成等事務作業に当たる職員を固定化する事で日々の作業の効率化と記録の正確性の向上を図ります。また、併せて介護事業支援ソフトの導入の検討を行ないます。作業の効率化で生まれた時間は季節行事等のイベントや次月の創作物の準備に当て、それぞれの準備期間を長めに設けることで職員の負担感の軽減を図り働き易い職場を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 記録担当と運動、レク担当に業務を分担し、記録の正確性は上がったが、記録担当職員が利用者との会話時間が持てない、創作準備の時間が確保できないという問題が新たに発生した。 分担制を中止し個別記録の書式を一部変更し活動内容の記入漏れの解消とわずかだが記録時間の短縮を図った。 介護事務支援ソフトは今年度検討を重ね次年度から導入の予定である。 イベントや創作物の準備期間を長めに設ける事は年度途中から重度者の複数利用が発生し援助に人手が必要となった為実施出来なかった。(B)
	<運営状況総括> <ul style="list-style-type: none"> 通所介護と総合事業対象者をあわせた1日あたりの平均利用者数は26.7人（前年度比▲3.2人）。 退職を希望する職員が複数名あった事と、複数の利用者が重症化しマンツーマンの援助が必要となった事で人員に余裕がなくなり、新規利用者の受け入れを抑制した為利用者数が大幅に減少した。 ∴平成30年度収支差引額：3,193千円（平成29年度収支差引額：3,193千円）	

<達成度基準>

S：目標をはるかに上回る（120%以上）

C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）

A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満）

D：目標をかなり下回る（80%未満）

B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満）

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
ホームヘルパーステーション	1) 訪問介護に関わる様々な情報の取得と共有 専門知識を深めるため、また視野を広げる為にも常勤職員が外部研修に参加し、ヘルパー全体で情報の共有を図ります。これからも強みである地域性を活かした綿密な連携、迅速な対応によって、より安心した在宅生活が送れる様支援いたします。	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供責任者研修に参加し、今後の介護の動向の情報を得て、内部研修でも情報の共有を図ることができた。また、訪問介護計画書の演習に参加し専門性を高めることができた。しかし、介護技術や今後求められる看取り等の専門的な研鑽は出来ず、引き続きの課題となった。 他セクション等と連携し柔軟かつ迅速な対応を行い、ご利用者及びご家族に信頼され安心していただけた。(B)
	2) 双方の安全・安心を配慮した環境づくり ご利用者に安全そして安心してサービスの提供が出来ると共に、職員も安心してサービスの提供が出来るよう介護技術の確認や環境を整えていきます。そしてご利用者に満足していただけるよう、また職員も働きやすい職場になるよう努めてまいります。	<ul style="list-style-type: none"> 一部マニュアルの見直しを行い、緊急時の対応などの重要なものはヘルパー全員に改めて説明し配布した。見直しが行なえていないものについては引き続き行っていく必要がある。 安全に介助ができるよう訪問先で危険な箇所を確認し、改善策を担当ヘルパーにもご家族にも提案し環境を整えた。また、判断に迷う案件を県民局へ確認し、考え方の根拠や注意事項などをヘルパー全員に伝えると共に、ご利用者及びご家族にも伝え理解してもらい双方に安心していただけた。(B)
	〈運営状況総括〉 <ul style="list-style-type: none"> 今年度は新規契約が25件あったが、中止・死亡・入所された方が23件あった。昨年度に比べ訪問回数が要介護、要支援合わせて776回の減少という結果になった。要支援利用者の緩和サービスへの移行や、要介護利用者の入所や死亡が例年より多かったことにより大幅な減収となった。 障がい福祉サービスは移動支援の増加はなく、居宅支援は1件終了、1件中止となったが、今年度より介護職員処遇改善加算(Ⅱ)を取得したため昨年並みの収入となった。 昨年に引き続き介護保険外サービス事業では定期利用者に加え、急な受診対応やご家族が帰宅されるまでの見守り、要支援利用者の生活援助の追加利用など柔軟に対応し利用者数、利用回数は昨年並みだった。 ∴平成29年度収支差引額：▲3,217千円（平成28年度収支差引額：▲3,144千円）	

＜達成度基準＞

S：目標をはるかに上回る（120%以上）

C：目標をやや下回る（80%以上95%未満）

A：目標を達成し上回る結果（105%以上120%未満）

D：目標をかなり下回る（80%未満）

B：概ね目標どおり期待水準（95%以上105%未満）

◆平成30年度事業実績

I. 会務の運営

1. 役職員による法人運営

〔1〕理事会の開催

(1) 要件

- ・地域福祉の推進を目的に、本会の定款に基づき、理事会5回を開催した。
- ・本会の事業計画および予算、事業報告及び決算報告、諸規程の制定及び改廃等の本会の運営において重要な案件について協議した。

(2) 実施結果

開催日／出席数	決議事項
平成30年4月27日（金） ／理事8名（10名） ／監事2名（2名）	◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会評議員会に理事候補者の選定について
平成30年6月1日（金） ／理事8名（10名） ／監事2名（2名）	◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会平成30年度一般会計第1次補正予算（案）について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会平成29年度事業実績報告について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会平成29年度一般会計収支決算報告について ◇報告事項 ・夏のボランティア体験事業について ・夏季一斉友愛訪問活動について ・我が町の暮らしの応援団について
平成30年9月27日（木） ／理事7名（10名） ／監事2名（2名）	◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会評議員会に諮る理事候補者の選定について ◇平成30年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第2次補正予算（案）について ◇報告事項 ・平成30年度早島町いきいきサポーター養成講座（町委託事業）について ・夏季一斉友愛訪問活動について ・夏のボランティア体験事業について ・社会福祉法人による「地域における公益的な取り組み」の計画について ・倉敷市災害ボランティアセンターへの職員派遣状況について

<p>平成30年12月20日（木） ／理事9名（10名） ／監事2名（2名）</p>	<p>◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会嘱託職員賃金規程の一部を改正する規程について ◇平成30年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第3次補正予算（案）について ◇報告事項 ・平成30年度上期決算概要について ・いきいきサポーター養成講座の報告について ・住民福祉活動先進地視察研修の報告について ・福祉映画会の報告について ・年末大掃除おたすけサービスの活動状況について ・共同募金運動の実施状況について ・社協及び町福祉関係計画について</p>
<p>平成31年3月20日（水） ／理事10名（10名） ／監事2名（2名）</p>	<p>◇平成30年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第4次補正予算（案）について ◇ふれあいいきいきサロン活動助成金交付要綱の制定について ◇平成31年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会事業計画（案）について ◇平成31年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計当初予算（案）について ◇報告事項 ・共同募金実績報告について ・基金の状況について ・倉敷市災害ボランティアセンターについて ・その他</p>

〔2〕 評議員会の開催

（1）要件

- ・地域福祉の推進を目的に、本会の定款に基づき、評議員会4回を開催した。
- ・本会の事業計画および予算、事業報告及び決算報告、諸規程の制定及び改廃等の本会の運営において重要な案件について協議した。

（2）実施結果

開催日／出席数	決議事項
<p>平成30年6月19日（火） ／評議員21名（21名）</p>	<p>◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会平成30年度社会福祉一般会計第1次補正予算（案）について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会平成29年度事業実績報告について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会平成29年度一般会計収支決算報告について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会理事の選任について ◇報告事項</p>

	<ul style="list-style-type: none"> •夏のボランティア体験事業について •夏季一斉友愛訪問活動について •暮らしの応援団について
平成30年10月4日(木) /17名(21名)	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会評議員会に諮る理事候補者の選定について ◇平成30年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第2次補正予算(案)について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> •平成30年度早島町いきいきサポーター養成講座(町委託事業)について •夏季一斉友愛訪問活動について •夏のボランティア体験事業について •社会福祉法人による「地域における公益的な取り組み」の計画について •倉敷市災害ボランティアセンターへの職員派遣状況について •12/1福祉映画会について
平成30年12月21日(金) /16名(21名)	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会嘱託職員賃金規程の一部を改正する規程について ◇平成30年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第3次補正予算(案)について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> •平成30年度上期決算概要について •いきいきサポーター養成講座の報告について •住民福祉活動先進地視察研修の報告について •福祉映画会の報告について •年末大掃除おたすけサービスの活動状況について •共同募金運動の実施状況について •社協及び町福祉関係計画について

平成31年3月22日（金） ／17名（21名）	<ul style="list-style-type: none"> ◇平成30年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計第4次補正予算（案）について ◇ふれあいいきいきサロン活動助成金交付要綱の制定について ◇平成31年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会事業計画（案）について ◇平成31年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会一般会計当初予算（案）について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・共同募金実績報告について ・基金の状況について ・倉敷市災害ボランティアセンターについて ・その他
----------------------------	---

〔3〕 評議員選任・解任委員会の開催

（1）要件

- ・地域福祉の推進を目的に、本会の定款に基づき、評議員選任・解任委員会1回を開催した。
- ・理事会において推薦された評議員候補者について審議し、選任した。

（2）実施結果

開催日／出席数	決議事項
平成30年4月27日（金） ／委員3名	◇評議員の選任について

〔4〕 内部監査の実施

（1）要件

- ・地域福祉の推進を目的に、本会の定款に基づき、監事会1回を開催した。
- ・本会の事業実績報告書により業務執行状況の、決算書及び諸帳票により財務状況の監査を実施し、監査報告書を作成した。

（2）実施結果

開催日／出席数	決議事項
平成30年5月23日（水） ／監事2名	<ul style="list-style-type: none"> ◇平成29年度事業実績状況（報告書）の監査 ◇決算（書）及び諸帳票の監査

〔5〕 役員の先進地視察研修の実施

（1）要件

- ・他市町村の住民主体の地区福祉活動先進地を視察し、本町における地区福祉活動のあり方を検討する機会とするため、住民福祉関係者と合同で先進地社協（真庭市社会福祉協議会）へ視察研修を行った。

(2) 実施結果

視察日程／参加者	視察先／主な研修項目
平成30年11月26日(月) [参加者] ・理事：7名 ・監事：2名 ・評議員：9名 ・その他：51名 合計：69名	◇真庭市社会福祉協議会 ・真庭市社会福祉協議会が推進する「地区社協」活動

〔6〕人事管理制度の推進

(1) 要件

- ・平成25年度から開始した人事管理制度の円滑な推進の為、第三者（コンサルティング会社）の助言を受けながら、人事管理制度運用検討会を7回行った。
- ・今年度より新たに各部署サブリーダーも参画し、人事管理制度の見直し作業を行った。

(2) 実施結果

◇人事管理制度運用検討会（全6回）

開催日／出席者数	協議事項
平成30年 6月29日(金) ／9名	◇環境の変化と人事管理制度の概要 ◇目標進捗状況の協議
平成30年 8月22日(水) ／11名	◇人事評価制度の見直しに関する意見交換 ◇人事評価制度の見直しのテーマ・項目の設定
平成30年 9月28日(金) ／11名	◇行動評価シートの見直し ◇人事管理制度全般の内容や運用に関する意見集約
平成30年11月30日(金) ／10名	◇中間収支決算報告 ◇利用状況等実績報告 ◇目標進捗報告
平成30年12月17日(月) ／11名	◇考課者研修（考課者や面接者の心得・ケーススタディー）
平成30年 2月18日(月) ／5名	◇人事評価集計結果の調整
平成30年 3月11日(月) ／5名	◇人事評価集計結果の調整

〔7〕早島町内社会福祉法人連絡協議会設立準備会^⑧

(1) 要件

- ・社会福祉法改定に伴い、営利目的では成り立たない社会福祉に貢献するため、特別に認可された「社会福祉法人」の使命である地域貢献のあり方を検討する。
- ・地域で必要とされる多様な福祉ニーズへ対応するため、早島町内の社会福祉法人の連携組織の設立の準備を進めた。

(2) 参加法人名（運営施設名）

- ①社会福祉法人 戸川児童福祉会（早島保育園）
- ②社会福祉法人 中野社会福祉協会（かんだ保育園・わかみや保育園）
- ③社会福祉法人 敬仁会（特別養護老人ホーム白亜館・デイサービスセンター白亜）
- ④社会福祉法人 早島町社会福祉協議会（事務局・居宅介護支援センター・デイサービスセンター・ホームヘルプステーション）

※「社会福祉法人 リンク」は、本部被災等の事由で今年度の参画見合わせ。

(3) 実施結果

開催日／出席者数／会場	協議事項
平成30年10月12日（金） ／7名／オアシス早島	◇社会福祉法人連携の趣旨と県内の取り組み状況について ◇「早島町社会福祉法人連絡協議会」設立準備会の規約について ◇法人間の情報交換と今後の展開について ◇
平成30年11月22日（木） ／8名／特別養護老人ホーム白亜館	◇社会福祉法人 敬仁会の取り組む事業について ◇『現況報告書』の「地域における公益的な取組」欄への記載について ◇地域貢献活動への取り組みに向けての事前調査結果について ◇法人間の情報交換と今後の展開について
平成31年 2月21日（木） ／7名／オアシス早島	◇社会福祉法人 早島町社会福祉協議会の取り組む事業について ◇各法人での対応困難事例について ◇地域貢献活動への取り組みに向けて

Ⅱ. 地域福祉事業

1. 広報事業活動の推進

〔1〕社協だより発行の発行

(1) 要件

- ・町民に対する社協活動や住民福祉活動等の情報提供手段として、広報誌「はやしま社協だより」を年4回発行。

(2) 発行実績

- ◇第109号（夏号） 平成30年 6月下旬発行（5,000部）
- ◇第110号（秋号） 平成30年10月下旬発行（5,000部）
- ◇第111号（新春号） 平成30年12月下旬発行（5,000部）
- ◇第112号（春号） 平成31年 3月下旬発行（5,000部）

〔2〕ホームページによる福祉情報の発信

(1) 要件

- ・地域福祉活動計画（ほっとプラン）に基づき、町内の福祉活動や本会の事業活動をホームページにより効果的に発信した。
- ・町内の福祉活動や本会の事業活動を Facebook によりリアルタイムに発信した。

(2) 実施結果

○Facebook 年間投稿記事数

発信部署	発信件数（前年度比）
事務局	55件（37件）
居宅介護支援センター	18件（11件）
デイサービスセンター	1件（▲5件）
ホームヘルパーステーション	0件（▲4件）
合計	74件（39件）

〔3〕地域福祉活動計画の推進状況の周知

(1) 要件

- ・地域住民や福祉関係団体・機関への地域福祉活動計画（ほっとプラン）内容の周知や活動参画を求めることを目的に計画内容や進捗状況の説明を行う。

(2) 実施結果

開催日	行事名／場所
平成30年 6月13日（水）	早島町シルバー人材センター就労開拓委員会／早島町シルバー人材センター
平成30年 6月28日（木）	早島町福祉活動員協議会定例会／オアシス早島
平成30年 9月21日（金）	早島町民生児童委員協議会定例会／早島町役場
平成30年10月24日（水）	早島町包括ケア懇話会／早島町役場
平成30年11月16日（金）	早島町支え合い協議体／早島町役場
平成31年 2月21日（木）	早島町社会福祉法人連絡協議会設立準備会／オアシス早島

〔4〕早島の匠ミニギャラリーの開催

(1) 要件

- ・地域福祉センターオアシス早島1階ロビーを活用し、町内住民やグループによるミニ作品展を開催し、一般住民の来館促進を図り、本会の各種地域福祉事業の周知を行う。

(2) 開催実績

区分	ジャンル	作者（出展者）	作品展示期間
個人	掛軸	蜂谷 賢一	平成30年 5月16日～ 6月15日
個人	写真	大森 肇	平成30年 8月 7日～ 9月 6日
個人	竹細工	信山 安	平成30年10月23日～11月22日
団体	手芸品他	障害者作品展	平成30年11月28日～12月17日
団体	絵画	早島児童作品展（MOA美術館）	平成30年12月 3日～12月15日
個人	木工品	松内 総典	平成31年 2月 1日～ 2月28日

2. 会費・寄付・募金の収受

〔1〕住民会員・会費の募集

(1) 要件

- ・社会福祉に関心を有し、本会の趣旨・事業に賛同した個人又は団体等の会員を募るものである。本年度の結果は下記のとおりとなった。

(2) 実施結果

区 分	会員数	□ 数	金 額
賛助会費・個人（一口1,000円）	0人	0□	0円
合 計	0人	0□	0円

〔2〕一般寄付等の受納

(1) 要件

- ・一般寄付・満中陰志を受納し、その寄附金を地域福祉推進のための事業を実施するほほえみ基金事業の原資となる基金へ積立てを行った。

(2) 寄付金実績

区 分	件 数	金 額
一般寄付	6件	25,250円
満中陰志	15件	350,000円
合 計	21件	375,250円

〔3〕共同募金運動（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）の推進

（※岡山県共同募金会早島町共同募金委員会事務）

(1) 要件

- ・地域福祉の推進という目的のもと、共同募金の役割や使い道の周知を図り、「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに様々な募金活動による呼びかけを行う。町民一人ひとりに対し活動を通じて「思いやりの心」掘り起こすとともに、「福祉のまちづくり」に参加できる仕組みである。また、共同募金の適正かつ効果的な助成や配分により、地域課題の発見や新たな支え合い構築など福祉活動を支援する。

(2) 実施結果

①赤い羽根共同募金実績

募金種別	募金額内訳	前年度比
戸別募金	1,027,864円	▲25,165円
街頭募金	17,072円	9,185円
学校募金	105,457円	58,927円
個人募金	7,600円	▲15,464円
法人募金	382,400円	45,516円
イベント募金	25,500円	600円
職域募金	109,261円	▲4,889円
その他の募金	32,092円	▲7,222円
通帳利息	6円	2円
	1,707,252円	61,490円

②歳末たすけあい募金実績

募金種別	募金額内訳	前年度比
戸別募金	944,884円	9,086円
個人募金	0円	▲292円
その他の募金	0円	▲928円
通帳利息	1円	0円
	944,884円	7,866円

③共同募金運動推進活動

開催日	行事名	募金実績
平成30年 9月14日(金)	早島中学校街頭募金	14,570円
平成30年10月 2日(火)	早島駅前街頭募金	2,164円
平成30年10月 2日(火)	マルナカ早島店前街頭募金	2,020円
平成30年11月 4日(日)	いきいき広場街頭募金	12,888円
平成30年11月 4日(日)	いきいき広場イベント募金	25,500円

※早島中学校街頭募金は、上記(2)の①では学校募金へ計上。

3. 住民参画型生活支援活動の検討

〔1〕外出支援活動の検討

(1) 要件

- ・地域福祉活動計画(ほっとプラン)に基づき、平成27年度末から開始した町内の高齢者や障がい者の社会参加の促進を目的とした外出支援活動の検討を継続実施。
- ・福祉有償運送事業の実施状況の共有を行う。
- ・平成28年度から開始したサロン活動や給食サービス活動参加者の送迎活動について実施状況の共有を行う。

(2) 外出支援活動検討会の開催

開催日	主な検討事項
平成30年 4月10日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
平成30年 5月 8日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
平成30年 6月12日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
平成30年 7月10日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
平成30年 8月21日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
平成30年 9月11日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
平成30年10月 9日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
平成30年11月13日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
平成30年12月11日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
平成31年 1月15日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
平成31年 2月12日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動
平成31年 3月12日(火)	・福祉有償運送事業の実施状況とサロン等送迎活動

(3) サロン等送迎活動実績

- 実利用団体数；11団体(サロン；6団体・給食サービス；5団体)
- 延べ運行回数；193回
- 延べ利用者数；948名

〔2〕生活支援活動の試行^新

(1) 要件

- ・地域福祉活動計画（ほっとプラン）に基づき、今後の地区内外の支え合い活動のあり方を住民主体で試行検証する場として、「（仮称）生活支援活動を考える会」を「暮らしの応援カフェ」と名称変更し、継続して毎月開催する。
- ・上記カフェで生活支援活動の試行活動の検討を続け、「暮らしの応援団」を組織化し、様々な生活支援活動を行う。

(2) 生活支援活動実績

○定期活動

支援内容	実件数	延べ件数	実活動者数	延べ活動者数	備考
ゴミ出し	5件	156件	2名	156名	可燃物

○不定期活動

支援内容	実件数	延べ件数	実活動者数	延べ活動者数	備考
電球取替え	3件	3件	4名	5名	電灯・照明器具含む
付き添い支援	2件	4件	2名	4名	買い物・病院
家屋内整理	4件	5件	10名	10名	可燃・不燃物・資源物
家屋等修繕	5件	6件	7名	14名	屋根・壁・車庫・立て簾等
合計	14件	18件	23名	33名	

〔3〕いきいきサポーター養成講座の実施【早島町受託事業】

(1) 要件

- ・町内施設や集いの場でのボランティアや介護予防活動を行う「早島町いきいきサポーターポイント制度」への登録要件となる要請講座を開講。

(2) 研修期間

平成30年11月15日（木）～11月28日（水）／研修時間数10時間

開催日	内容	時間
平成30年 11月15日（木）	開校式・オリエンテーション	2時間
	早島町の高齢者の現状と介護保険	
	町内の福祉活動の現状	
	生活支援サポーター活動の意義	
11月15日（木）	高齢者を理解する①「高齢者に多い疾患と対応」	2時間
11月28日（火）	地域でのサポーターの役割～100歳体操など～	2時間
	施設でのサポーターの役割～デイサービスの見学など～	
	町内の福祉活動の現状	
	閉校式	
合計／6時間		

(3) 受講者数

8名（新規6名）

〔4〕暮らしの応援カフェの開催^新

(1) 要件

- ・ゴミ出しや買い物等の町民同士の支え合いの活動について、「はやしまほっとプラン」の指針の検証と試行を住民目線で行いながら、現実的な生活支援活動を模索する茶話会を開催する。
- ・「（仮称）生活支援活動を考える会」から「暮らしの応援カフェ」に名称変更し、原則として毎月10日に開催。

(2) 茶話会開催実績

開催日	主な検討事項
平成30年 4月10日(火)	・試行活動報告、茶話会運営検討 等
平成30年 5月10日(木)	・試行活動報告・募集、活動名称検討、日曜大工活動紹介 等
平成30年 6月 8日(金)	・試行活動報告・募集、会の運営検討、独居団体活動紹介 等
平成30年 7月10日(火)	・試行活動報告・募集、活動対象検討、ワンコイン活動紹介 等
平成30年 8月10日(金)	・試行活動報告・募集、活動対価検討、被災地支援活動紹介 等
平成30年 9月10日(月)	・試行活動報告・募集、活動広報検討、絵手紙活動紹介 等
平成30年10月10日(水)	・試行活動報告・募集、活動状況検討、大掃除活動紹介 等
平成30年11月 9日(金)	・試行活動報告・募集、会の運営検討、独居団体活動紹介 等
平成30年12月10日(月)	・試行活動報告・募集、会の運営検討、独居団体活動紹介 等
平成31年 1月10日(木)	・試行活動報告・募集、会則検討、視察研修報告 等
平成31年 2月 8日(金)	・試行活動報告・募集、会則・活動登録シート検討 等
平成31年 3月 8日(金)	・試行活動報告・募集、会則検討、年間活動の振り返り 等

(3) 参加者数

実参加者数36名（延べ参加者数232名）

4. 福祉活動員活動の支援

〔1〕福祉活動員協議会活動の支援

(1) 要件

- ・各自治会町内会から選出された「福祉活動員」83名で組織する「福祉活動員協議会」の事務局として、福祉活動員の活動支援を行った。
- ・定例会を全体研修月以外に7回開催。各地区の福祉活動員の活動状況確認や見守り新鮮情報の回覧依頼、ボランティア活動への協力呼びかけを行った。また、援助活動に役立つ福祉知識や手法の提供を目的としたミニ講座を引き続き開催した。
- ・地域包括ケア推進に向け、その主要な立場に有る介護支援専門員と民生委員との意見交換の場を設けた。

(2) 定例会等開催実績

開催日		主な内容等（研修テーマ）
平成30年 4月26日(木)	総会	活動計画・予算の確認、役員を選任
平成30年 5月24日(金)	定例会	民生委員との意見交換（福祉マップ作成等） 熱中症予防について
平成30年 6月～	実践活動	夏季一斉友愛訪問活動（70歳以上高齢者）
平成30年 6月28日(金)	定例会	はやしまほっとプランの進捗状況について
平成30年 7月26日(木)	定例会	サロンで活かせるレクリエーション

平成30年 8月23日(木)	定例会	高齢者を地域で支える場面
平成30年 9月20日(木)	定例会	身近な介護技術
平成30年10月12日(水)	交流会	グラウンドゴルフ交流会
平成30年11月26日(月)	視察研修	真庭市社会福祉協議会の活動視察
平成30年12月3日~14日	実践活動	年末大掃除活動(75歳以上高齢者世帯等)
平成31年 1月24日(木)	定例会	日常の活動を振り返ろう!
平成31年 2月28日(木)	全体研修	救命措置の概要、胸部圧迫法・AED 操作法
平成31年 3月19日(木)	定例会	次年度活動計画の協議、引き継ぎ内容確認等

5. 地区福祉活動の推進

〔1〕高齢者給食サービス活動の推進

(1) 要件

- ・独居や高齢者世帯、障がい者等を対象として、給食ボランティアグループがバランスのとれた食事とふれあい交流の場を提供する。
- ・食材費等の助成や、活動を支援するためのアドバイスを行う。
- ・食中毒の防止を目的に、研修会の実施や食品衛生管理指導(チェック表の運用、衛生用品の支給)を継続して行う。

(2) 活動実績

団体名	利用者数	提供者数	延実施回数	延利用者数	延提供者数
クローバー	13	5	21	182	105
コスモス	31	12	22	418	211
スプリング	19	7	18	267	107
たんぽぽ	19	9	11	153	85
マスカット	20	6	11	176	64
ひまわり会	17	6	11	184	66
スマイル若宮	31	28	22	520	213
市場撫子の会	20	8	11	176	84
合計：8団体	190	81	127	2,076	935

(3) 連絡会等開催実績

連絡会名	給食ボランティア連絡協議会(食品衛生研修)
開催年月日	平成30年8月30日(木)
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階調理実習室
参加者	22名(8グループ)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「キッチンの衛生管理とおそうじ」 株式会社 ダスキン 常務取締役 谷岡 且三氏 ビジネスサービスエリアマネージャー 本田 達也氏 ・事務連絡(助成金手続き、衛生用品の配布等について説明)

〔2〕ふれあい・いきいきサロン活動の推進

(1) 要件

- ・気軽にふれあい交流や仲間づくりができる場を提供する活動の支援を行う。
- ・毎月1回開催の場合は年間2万円、隔月開催の場合は年間1万円、奨励金を交付。
- ・新たに下野地区のサロン活動の立ち上げを支援する。
- ・従来登録団体の内、2団体が活動縮小に伴い登録から外れる。

(2) サロン活動団体（合計23団体）

サロン名	開催場所	対象地域	延べ利用者数	延べ協力者数	実施回数	活動内容
四つ葉会前潟	前潟公民館	前潟・下前潟	163	145	12	茶話会、季節行事、体操、遊び、講話等
しゃべろうかい	宮崎公民館	宮崎	105	23	12	茶話会、運動、創作活動、遊び、催し等
中山ふれあいサロン さつき会	中山集会所	中山	172	45	11	茶話会、運動、季節行事、遊び、講話、催し等
いきいきサロン市場	さつき荘	市場	155	82	11	茶話会、遊び、運動、催し
弁天井戸端喫茶	弁才天公民館	弁才天	84	55	11	茶話会、歌、季節行事、講話等
サロン・ひだまり	備南台公民館	備南台	528	166	12	茶話会、遊び、小旅行、部会活動
なしず会	無津公民館	無津	92	3	11	茶話会、運動、季節行事、奉仕活動等
日笠山さくら会	日笠山公民館	日笠山	163	59	6	茶話会、季節行事、講話、催し等
喫茶とよく	頓行公民館	頓行	182	87	11	茶話会、遊び、季節行事、講話、創作活動等
いきいきサロン三軒地	三軒地公民館	三軒地	115	31	13	茶話会、創作活動、講話、催し等
塩津いきいきサロン	塩津公民館	塩津	189	57	12	茶話会、催し、季節行事等
サロン市場健康促進の会	床田遊園地市場公民館	市場	102	36	19	茶話会、運動、催し、講話、季節行事等
いきいきサロン久々原	久々原公民館	久々原	71	18	6	茶話会、運動、季節行事、催し、創作活動
片田ふれあいサロン	片田公民館	片田	150	52	10	茶話会、運動、講話等
舟本コミュニケーションクラブ	舟本早島	舟本	41	12	4	体操、講話、コミュニケーション麻雀等
喜楽亭	大谷荘	若宮	446	265	10	遊び、運動、講話、軽食喫茶、催し
ふれあいサロン樽島	樽島公民館	樽島	154	59	12	茶話会、体操、講話等
金田いきいきサロンにじ	西コミュニティハウス	金田	201	55	11	茶話会、遊び、催し、講話、小旅行等
長津・畑岡ほっとサロン	いぶき荘	長津・畑岡	205	84	11	茶話会、運動、創作活動、催し等
イトーピア早島サロン	イトーピア集会所	イトーピア	184	23	12	茶話会、運動、遊び、季節行事等
サロン矢尾	矢尾公民館	矢尾	362	84	10	茶話会、運動、講話、遊び、季節行事等
ニュー早島にこにこサロン	ニュー早島荘	N早島	184	113	11	茶話会、遊び、催し等
下野のんびり友の会	下野公民館	下野				
合 計 / 延べ利用者数 4,048人 / 延べ協力者数1,554人 / 実施回数238回						

(3) 連絡会（研修会）開催実績

①第1回／ふれあい・いきいきサロン研修会

開催年月日	平成30年10月29日（月）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	33名（17グループ）
内容	・話題提供1「塩津地区の交流活動とサロン活動」 ・話題提供2「子育て世代との交流活動について」 ・意見交換「サロン活動を通じた世代間交流」

②第2回／ふれあい・いきいきサロン研修会

開催年月日	平成31年3月13日（水）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	24名（13グループ）
内容	・講話「『笑顔』は人のためならず」 株式会社笑い総研 研究員 宮地 勇 氏 ・意見交換「地域住民同士での交流活動に必要なこと」 ・事務連絡（新助成金制度）

(4) 奨励金交付実績

420,000円（21団体）

〔3〕夏季一斉友愛訪問活動の実施

(1) 要件

- ・70歳以上の方が居住する世帯及び年齢や同居の有無を問わず声かけが必要な要援護者を対象に、熱中症予防啓発と地域との関係づくりを目的に、民生委員・福祉活動員の協力を得て、全地区一斉の友愛訪問を行う。

(2) 活動実績

開催年月日	平成30年5月24日（木）から6月25日（月）
訪問対象者数	2,521人／28地区 ※平成30年4月1日時点で70歳以上の方
訪問活動者数	民生委員21名、福祉活動員83名
世帯実態概要	独居341名（世帯）、夫婦793名（約396世帯）
見守りの必要性	必要232名、不要2,289名

〔4〕年末大掃除おたすけサービスの実施

(1) 要件

- ・75歳以上の高齢者世帯の方、または障がい者世帯の方へおたすけ員を派遣し、年末大掃除の負担軽減を図った。おたすけ員としては、民生委員・福祉活動員・地域のボランティア等多くの住民の方々に広く協力を求めた。

(2) 活動実績

開催年月日	平成30年12月3日（月）から12月14日（金）
サービス実施世帯数	35世帯（高齢者世帯33件、障がい者2件）
おたすけ員協力者数	46名
おたすけ員協力者 内訳	民生委員11名、福祉活動員25名、とんかち1名、暮らしの応援団3名、ボランティア1名、社協登録ヘルパー1名、社協職員4名

〔5〕地区福祉活動の支援

(1) 要件

- ・地区会合へ参加し、地区住民協働で自治会単位での福祉活動の活性化やあり方を検討した。また、その福祉活動の検討や活動に対し、助成を行った。

(2) 活動実績（1地区）

①片田自治会（助成額5万円）

- ・福祉部会の開催（6月・1月）
- ・夏休み子どもサロンの開催（7～8月）
- ・新年もちつき会の開催（2月）

6. 福祉啓発（教育）の推進

〔1〕夏のボランティア体験事業

(1) 要件

- ・夏季休暇期間を活用して、学生（中学・高校・大学等）や地域住民の方を対象に、町内の福祉（教育）施設やボランティア団体の方々に、体験希望者の受入れの協力をいただき実施。体験終了後に、体験の振り返りを目的とした事後研修会を実施した。

(2) 実施結果

①事前説明会

開催年月日	平成30年7月14日（土）
開催場所	早島中学校ランチルーム
内容	① ボランティア活動 岡山市立岡山後楽館高等学校 教頭 室 貴由輝 氏 ②ボランティア体験における心構え・注意事項の説明
参加者	210名 ＜参加者内訳＞ 体験希望者186名、受入施設・団体関係者16名、中学校職員1名、社協職員6名、講師1名

②ボランティア体験期間

体験期間	平成30年7月20日（金）から8月20日（月） ※夏季休暇期間
受入団体	16機関・団体（実受入：16機関・団体数）
協力団体	＜福祉（教育）施設＞ 計11機関 早島幼稚園／早島保育園／かんだ保育園／わかみや保育園／早島児童館／早島町地域活動支援センター／早島町デイサービスセンター／特別養護老人ホーム白亜館／早島町生涯学習課／岡山県立早島支援学校／早島町社会福祉協議会 ＜ボランティア団体＞ 計5団体 早島いぐさ手話サークル／早島要約筆記サークル‘ぺんしる’／パソボラはやしま／はやしま朗読ボランティア福来朗／はやしま本だいすきの会
体験者数	244名 ＜体験者内訳＞ 中学生182名、高校59名、大学生2名
体験案内校	14校

	<中学校> 計1校 早島中学校 <高等学校> 計11校 岡山県立倉敷天城高等学校／岡山県立倉敷青陵高等学校／岡山県立倉敷中央高等学校／岡山県立倉敷南高等学校／岡山県立倉敷古城池高等学校／岡山県立倉敷工業高等学校／岡山県立水島工業高等学校／岡山県立倉敷商業高等学校／倉敷翠松高等学校（私立）／倉敷高等学校（私立）／ノートルダム清心学園・清心女子高等学校（私立） <短期大学・大学> 計2校 川崎医療福祉大学、中国学園大学・中国短期大学
--	---

③事後研修会

開催年月日	平成30年8月22日（水）
開催場所	早島中学校ランチルーム
内 容	体験の振り返り（グループワーク）
参加者	160名 <参加者内訳> 体験者145名、受入施設・団体関係者7名、中学校職員1名、倉敷高校職員1名、社協職員6名

〔2〕福祉教育への協力支援

（1）要件

- ・早島小学校から要請を受け、早島支援学校生徒との交流に向け、その導入として4年生を対象に体験教室を実施した。

（2）実施結果

①出前車イス体験教室

開催年月日	平成30年6月11日（月）
開催場所	早島小学校体育館
内 容	車イスの基本操作の説明や体験
参加者	小学4年生127名、小学校教員4名、社協職員4名

〔3〕コミュニケーション麻雀普及事業

（1）要件

- ・多人数が楽しめ仲間づくりや介護予防活動に役立つ『コミュニケーション麻雀』の普及と新たな地域活動参加者（普及員）発掘を目的に月2回『コミュニケーション麻雀を楽しむ会』（24回・383名参加）を開催した。
- ・依頼のあった団体（6団体・91名参加）へ普及員の派遣を行った。
- ・倉敷市で活動する『コミコミ麻雀を広める会』と交流、情報交換を行った。

（2）実施結果

	普及行事名等	参加者数	備 考
4月	楽しむ会（2回）	33名	定例会
5月	楽しむ会（2回）	32名	定例会
6月	楽しむ会（2回）	31名	定例会
	片田ふれあいサロン	20名	ふれあいいいききサロン

7月	楽しむ会（2回）	32名	定例会
	中山ふれあいサロンさつき会	11名	ふれあいいきいきサロン
8月	楽しむ会（2回）	32名	定例会
9月	楽しむ会（2回）	32名	定例会
	ブロンズクラブ	30名	町内の福祉当事者団体
10月	楽しむ会（2回）	32名	定例会
11月	楽しむ会（2回）	31名	定例会
	いきいきサロン久々原	11名	ふれあいいきいきサロン
	早島町身体障がい者福祉協会	9名	町内の福祉当事者団体
	舟本コミュニケーションクラブ	10名	ふれあいいきいきサロン
12月	楽しむ会（2回）	34名	定例会
1月	楽しむ会（2回）	36名	定例会
2月	楽しむ会（2回）	31名	定例会
	コミュニケーション麻雀交流会	33名	倉敷市の普及団体
3月	楽しむ会（2回）	27名	定例会

〔4〕障がい者作品展の開催

（1）要件

- ・福祉映画会の開催に合わせ、障がい者の方の作品展を開催し、町民に対し、障がい者福祉への理解を深める機会とした。

（2）実施結果

開催年月日	平成30年11月28日（金）から12月17日（日）
開催場所	早島町地域福祉センター
主催	早島町社会福祉協議会
共催	早島町身体障がい者福祉協会、早島町地域活動支援センター、早島つばさの会、ほのぼの会、喜楽会
出展者数	39名（44作品）

〔5〕福祉映画会の開催

（1）要件

- ・住民協働での個別ケアや福祉活動の活性化へ向けた機運をより高めていく機会として、福祉や介護・医療等の幅広い関連分野をテーマとした映画会を開催した。

（2）実施結果

開催年月日	平成30年12月1日（土）
開催場所	早島町町民総合会館「ゆるびの舎」文化ホール
主催	早島町社会福祉協議会
共催	早島町
協力団体	早島いぐさ手話サークル、はやしま朗読ボランティアグループ福来朗、早島要約筆記サークル‘ぺんしる’、パソボラはやしま、絵手紙ボランティアやまびこ、日曜大工ボランティアとんかち、コミュニケーション麻雀を広める会、運転ボランティアくるりん、給食ボランティア（クローバー・コスモス・スプリング・たんぽぽ・マスカット・ひまわり会・スマイル若宮・市場撫子の会）、ふれあ

	い・いきいきサロングループ（25グループ）、わが町の暮らしの応援団、早島町民生児童委員協議会、早島町福祉活動員協議会、特別非営利活動法人ふれあいネットはやしま、早島町婦人会、早島保護司会、早島町更生保護女性会
映画名	「ペコロスの母に会いに行く」（認知症介護）
観客数	429名（入場整理券421枚、当日発行整理券8枚） アンケート回収数（302名）

7. ボランティア活動の推進

〔1〕ボランティア活動保険の加入支援

（1）要件

- ・ボランティア活動する方が安心して活動できるよう、事故やけが、賠償責任等について補償するボランティア活動保険（実施主体：全国社会福祉協議会、受付窓口：市町村社協）の加入促進を図る。

（2）加入者数計：719名

◇団体加入：413名（26団体）

◇個人加入：307名 ※夏のボランティア体験活動者数を含む

〔2〕福祉ボランティアグループ活動の支援

（1）要件

- ・福祉ボランティア団体への活動支援と活動費助成を行った。

（2）実施結果

◆活動助成額合計：151,500円（6団体）

- ①パソボラはやしま、②早島要約筆記サークル‘ぺんしる’、③はやしま朗読ボランティア福来朗、④絵手紙ボランティアやまびこ、⑤日曜大工ボランティアとんかち、⑥運転ボランティアくるりん

〔3〕ボランティア活動に関する相談・調整

（1）要件

- ・町内の在宅生活者やボランティア団体、各種機関や組織、団体から要請を受け、年間を通じて、福祉ボランティア等の人材調整を行う。

（2）調整件数

○個人相談（個人の生活を支援する人材の協力要請）

相談者	依頼事項等	調整内容	調整件数
単身世帯（独居者）	ゴミ出し・買い物付き添い・家屋の修繕	暮らしの応援団員の派遣調整	9件
高齢者世帯	ゴミ出し・電球の取替え	暮らしの応援団員の派遣調整	6件
若年層と同居又は近隣居住世帯	家屋内外整理作業・立て簾設置・家屋の修繕	暮らしの応援団員の派遣調整	3件
合 計			18件

○団体相談（団体や組織活動を支援する人材や作業の協力要請）

相談元（団体）	行事名、依頼事項等	調整内容	調整件数
早島小学校	授業への協力	車いす体験の指導	1件
県立早島支援学校	授業への協力	朗読ボランティアの派遣調整	8件
南岡山医療センター	つくし病棟での本の読み聞かせ	朗読ボランティアの派遣調整	11件
町内グループホーム	プログラム企画協力	講師等ボランティアの派遣調整	1件
地区老人クラブ	プログラム企画協力	講師等ボランティアの派遣調整	1件
地区サロン活動グループ	プログラム企画協力	講師等ボランティアの派遣調整	31件
	送迎調整協力	運転ボランティアの派遣調整	60件
地区給食ボランティアグループ	プログラム企画協力	講師等ボランティアの派遣調整	2件
	送迎調整協力	運転ボランティアの派遣調整	166件
福祉当事者グループ	プログラム企画協力	講師等ボランティアの派遣調整	2件
合 計			283件

※本会デイサービスセンターが調整をした件数は除く。通所介護事業（P.32）参照。

〔4〕ボランティア調整機能等の検討

（1）要件

- ・町内の福祉施設や事業所でのボランティア受入等の調整のあり方について、施設や事業所との情報交換や検討を進め、町内のボランティアニーズに対する円滑な調整（ボランティアコーディネート）ができるよう下地づくりを行う。

（2）実施結果

- ・町内施設や集いの場でのボランティアや介護予防活動を行う早島町からの「早島町いきいきサポーターポイント制度」の運用受託の開始が送れ、未実施。

※倉敷市災害ボランティアセンターへの職員派遣※

（1）要件

- ・西日本豪雨災害により被災した倉敷市真備町の被災家屋の復旧作業を行う同センターの受付等業務支援を行う。

（2）実施期間（派遣日数）

平成30年7月11日（水）から平成31年3月24日（日）まで（内209日間）

（3）派遣職員数

- ・実派遣職員数27名（全部署）
- ・延べ派遣職員数332名

8. 福祉団体活動の支援

〔1〕福祉当事者団体の支援

(1) 要件

- ・当事者団体への活動支援と活動費助成を行った。

(2) 実施結果

◆活動助成額合計：390,336円（3団体）

- ①早島町身体障がい者福祉協会、②早島つばさの会（知的障がい者の親の会）、③ブロンズクラブ（独居高齢者の会）

〔2〕福祉団体の支援

(1) 要件

- ・福祉団体への活動支援と活動費助成を行った。

(2) 実施結果

◆活動助成額合計：172,000円（2団体）

- ①早島保護司会、②早島町更生保護女性会

9. 在宅福祉サービス事業の実施

〔1〕福祉有償運送事業の実施

(1) 要件

- ・要介護高齢者や障がいある方のうち、自力で公共交通機関を利用できない方を対象に、有償（タクシー料金の概ね半額）で、ご自宅から目的地までの送迎外出支援を「福祉車両」によりを行う。
- ・運行毎次の使用車両の運行前点検と登録運転手の体調確認及びドライブレコーダーによる実際の運行映像を活用し、月次の安全運転指導や研修を行った。

(2) 利用状況等実施結果

◆実利用者数 23人（前年度比+8人）

◆延べ運行回数 70回（前年比▲18回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	運行回数	利用料収入（円）
4月	2人	5回	6,178円
5月	3人	6回	5,862円
6月	5人	8回	7,470円
7月	4人	7回	6,662円
8月	2人	3回	1,314円
9月	5人	5回	6,182円
10月	7人	14回	14,614円
11月	3人	5回	3,812円
12月	3人	3回	3,128円
1月	2人	6回	7,128円
2月	4人	5回	4,248円
3月	2人	3回	4,154円
合計	42人	70回	70,752円

〔2〕福祉用具貸出サービスの実施

(1) 要件

- ・介護が必要な状態にある方への介護用具の貸し出しを行う。介護認定を受け、介護保険サービス内で利用できる方は、対象外とする。
- ・下記品目の寄贈を受ける。
 - シルバーカー1台（個人）、シャワーチェア1台（個人）
- ・例年どおり旅行等の一時的な外出、受診目的での車イスの短期貸出が多かった。

(2) 利用実績

①実利用者数

43名（前年度比±0名） ※別に2団体へ貸出。

②貸出品目と件数

介護用具名	貸出件数
車いす	79件
リクライニング車いす	3件
スロープ	10件
ポータブルトイレ	27件
シルバーカー	0件
点滴スタンド	1件
吸引器	1件
シャワーチェア	1件
浴槽台	1件
布担架	1件
合 計	124件（前年度比+17件）

10. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助

〔1〕生活福祉資金貸付

(1) 要件

- ・低所得者世帯の経済的自立や身体障がい者世帯の生活意欲の助長促進及び、在宅福祉、社会参加の促進のために必要な資金を貸付けるために、生活福祉資金貸付事務（実施主体：岡山県社会福祉協議会、受付窓口：市町村社協）を行った。

(2) 対応実績（平成31年3月31日現在）

貸付資金種類	相談件数	新規貸付	貸付中	償還中
総合支援資金	0件	0件	0件	0件
福祉資金	0件	0件	0件	0件
教育支援資金	0件	0件	0件	1件
不動産担保型生活資金	0件	0件	0件	0件
※旧・離職者支援資金	-	-	-	1件
合 計	0件	0件	0件	2件

〔2〕日常生活自立支援事業

(1) 要件

- ・在宅で生活しており、自分の判断で福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を適切に行うことが困難な方をサポートする本事業（実施主体：岡山県社会福祉協議会）の相談業務を行った。

(2) 対応実績（平成31年3月31日現在）

援助区分	相談件数	新規契約	継続援助中	契約解除
認知症高齢者	0件	0件	0件	0件
その他の障がい者	2件	2件	3件	0件

1.1. 地域福祉センターの運営管理

〔1〕施設利用の促進

(1) 要件

- ・町内の地域福祉活動拠点として、福祉関係者を中心にセンター内の施設（4部屋、開放フロア）の貸し出しと管理運営を行った。

(2) 団体利用実績

施設名	利用回数	利用人数	平均利用人数
ボランティア室	86回	491人	5.7人
調理実習室	44回	873人	19.8人
会議室	145回	3,355人	23.1人
プレイルーム	152回	1,603人	10.5人
開放フロア	29回	108人	3.7人

(3) 個人利用実績（プレイルームのみ）

- ◆延べ利用者数：788人（小学生のみ）

〔2〕備品・用具の貸出

(1) 要件

- ・町内の地域福祉活動の活性化のため、福祉活動に役立つ備品・用具の貸出しを行った。

(2) 利用実績

援助区分	合計	福祉関係団体	行政関係団体	その他
レクリエーション用具	38件	38件	0件	0件
機材	19件	17件	2件	0件
その他	8件	6件	2件	0件

〔3〕施設改修の実施

(1) 要件

- ・老朽化する施設内の空調設備や調理室の調理機器の取り替え、ゴミステーションの扉の取り替え等を行った。また、会議室にプロジェクターの設置を行った。

(2) 改修実績

①設備修繕

- ・空調設備の修繕（4機）
- ・ゴミステーション扉の取り替え
- ・調理室調理機器の取り替え（ガス調理台4台、IHクッキングヒーター2台）

②施設改造

- ・会議室へのプロジェクターの設置

Ⅲ. 介護サービス事業

1. 居宅介護支援事業

〔1〕介護保険-居宅介護支援事業の実施

(1) 要件

- ・利用契約を結んだ要介護状態の方に対し、ご本人やご家族の意思を尊重しながら、介護・保健・医療・福祉サービスを適切に利用することができるよう、個別の居宅サービス計画の作成や事業者等との調整を行った。
- ・サービス利用以外の時間帯にも安心した在宅生活が過ごせるよう、介護保険制度以外にも民生委員・福祉活動員との個別に情報共有を行うとともに、住民による生活支援活動試行への積極的な誘導を図った。
- ・ご利用者の要望に応じ、ご利用者を主役とするサロンを開催した。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規契約利用者：53件（前年度比▲5件）
- ◆年間契約解除利用者：66件（前年度比＋8件）
- ◆月間平均請求件数：190件（前年度比▲6件）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	件数	収入(円)
4月	192件	3,013,510円
5月	189件	2,968,570円
6月	189件	2,956,970円
7月	191件	3,012,580円
8月	190件	2,984,400円
9月	194件	3,024,570円
10月	196件	3,061,430円
11月	192件	3,006,810円
12月	189件	2,955,870円
1月	192件	3,026,110円
2月	188件	2,943,890円
3月	180件	2,808,550円
合計	2,282件	35,763,260円

〔2〕介護保険-介護予防居宅介護支援事業の実施【早島町受託事業】

(1) 要件

- ・利用契約を結んだ要支援状態の方に対し、ご本人やご家族の意思を尊重しながら、介護予防・保健・医療・福祉サービスを適切に利用することができるよう、個別の介護予防支援サービス計画の作成や事業者等との調整を行った。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規契約利用者：16件（前年度比▲33件）
- ◆年間契約解除利用者：12件（前年度比+5件）
- ◆月間平均請求件数：40.3件（前年度比▲4.2件）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	件数	収入(円)
4月	37件	159,100円
5月	36件	154,800円
6月	40件	172,000円
7月	38件	163,340円
8月	40件	172,000円
9月	43件	184,900円
10月	43件	184,900円
11月	41件	176,300円
12月	42件	180,600円
1月	42件	180,600円
2月	41件	176,300円
3月	41件	176,300円
合計	484件	2,081,140円

※本事業担当介護支援専門員の人件費を町受託金で受けており、本事業収入は、国民健康保険団体連合会から早島町へ給付される。

2. 通所介護事業

〔1〕介護保険-通所介護事業の実施

(1) 要件

- ・通所介護サービスの利用により、介護が必要な高齢者の身心の機能の悪化を防止するとともに、利用者が以前と変わらず自宅で生活でき、趣味活動や人との交流のある生活を維持できるよう支援する。
- ・介護をしている家族の心身の負担を軽減する。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：6人（前年度比▲1人）
- ◆年間延べ利用者数：7,809人（前年度比▲495人）

(3) 利用状況及び収入の推移（要介護1～5の利用者）

サービス月	開所日数	実利用者数	延利用者数	1日平均利用者数	収入(円)
4月	25日	57名	644名	25.7名	5,089,020円
5月	27日	59名	702名	26.0名	5,643,230円
6月	26日	60名	671名	25.8名	5,583,020円
7月	25日	60名	650名	26.0名	5,422,240円
8月	27日	59名	731名	27.0名	5,791,850円
9月	25日	57名	646名	25.8名	5,399,330円
10月	27日	58名	710名	26.2名	5,832,500円

11月	26日	56名	675名	25.9名	5,485,380円
12月	24日	57名	616名	25.6名	5,164,380円
1月	24日	59名	576名	24.0名	4,820,680円
2月	24日	54名	571名	23.7名	4,710,190円
3月	26日	55名	618名	23.7名	4,979,430円
合計	306日	691名	7,809名	25.5名	63,921,250円

※1日平均人数は、小数点第2位以下切捨て。

〔2〕介護予防・日常生活支援総合事業の実施

(1) 要件

- ・介護予防・日常生活支援総合事業対象者に対して、利用者が要介護状態になることを予防し、心身ともに自立した生活を維持できるよう支援する。
- ・高齢者を支える家族の生活を支援する。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 1人（前年度比 +1人）
- ◆年間延べ利用者数：365人（前年度比 +176人）

(3) 利用状況及び収入の推移（要支援1～2の利用者）

サービス月	開所日数	実利用者数	延利用者数	1日平均利用者数	収入(円)
4月	25日	5名	32名	1.2名	176,560円
5月	27日	4名	28名	1.0名	136,080円
6月	26日	4名	26名	1.0名	137,490円
7月	25日	4名	26名	1.0名	137,490円
8月	27日	4名	31名	1.1名	137,490円
9月	25日	5名	33名	1.3名	174,210円
10月	27日	5名	36名	1.3名	176,560円
11月	26日	5名	37名	1.4名	176,560円
12月	24日	5名	33名	1.3名	176,560円
1月	24日	4名	27名	1.1名	137,490円
2月	24日	4名	26名	1.0名	137,490円
3月	26日	4名	30名	1.1名	137,490円
合計	306日	53名	365名	1.1名	1841470円

※1日平均人数は、小数点第2位以下切捨て。

〔3〕介護保険外サービス事業の実施

(1) 要件

- ・利用登録者を対象に、社会参加の促進と生き甲斐づくりを目的に、介護保険外の事業として年1回の日帰り旅行を実施した。

(2) 活動実績

①日帰り旅行

開催年月日	平成30年10月28日(日)
行き先	閑谷学校、和気鶴飼谷温泉、備前海の駅
参加者	利用者27名・家族5名・ボランティア8名・職員20名

②保険外デイサービス(一時帰宅中の交流や要支援者の入浴)

利用者 なし

〔4〕ボランティア協力(受入)

(1) 要件

- ・ 演芸ボランティアを始め、季節行事や日常的プログラム支援としてボランティア受け入れをし、デイサービスで過ごす時間の充実を図る。
- ・ ボランティア受入により、住民と利用者との交流の場としての役割を担う。
- ・ ボランティア活動を希望する住民や学生を受け入れ活動の場を提供する。

(2) 実施結果

新規協力は団体2、個人1。

◇ボランティア来館数

プログラム提供			行事補助 (延べ人数)	ボランティア体験 (延べ人数)
月	個人活動	団体数		
4月	3名	5団体		
5月	2名	4団体		
6月	3名	3団体		
7月	2名	4団体	夏祭り(9人)	夏ボラ(10人)
8月	1名	3団体		夏ボラ(6人)
9月	1名	9団体		
10月	2名	4団体	日帰り旅行(8人)	
11月	2名	3団体		
12月	3名	4団体		
1月	2名	5団体		
2月	2名	5団体		
3月	2名	4団体	餅つき(35人)	
合計	25名	45団体	52人	16人

◇個人ボランティアの活動内容(有償の活動は除く)

活動内容	活動人数
アコーディオン演奏	1名
将棋相手	1名
話し相手	1名
レクリエーション・体操補助	1名
整髪・配膳・お茶だし等の補助	1名
季節のイベント補助・利用者の付き添い	複数名

◇団体ボランティアの活動内容（有償の活動団体は除く）

団体名	活動内容（今年度活動回数）
伊つき座	芝居（1回）
絵手紙ボランティアやまびこ	絵手紙教室の開催（4回）
暮らしの応援団◎	餅つき補助（4日間）
コーラスフルール	コーラス（1回）
じゃがいもの会	歌と踊り（1回）
多聞会	餅つき大会の物品借用（1回）
ダンディボーイズと歌姫たち	コーラス（2回）
日本訪問歯科協会 原歯科医院	お口の健康相談会（4日間）
ねねの会	三味線演奏と歌（1回）
野の花の会	創作案提供
早島オカリナ倶楽部	オカリナ演奏（1回）
はやしま本だいすきの会	朗読会（1回）
早島要約筆記サークル ‘ぺんしる’	OHP を使った俳句の紹介（1 2回）
はやしま朗読ボランティア福来朗	朗読（1 3回） 行事補助（4日間）
備前鳴子屋	うらじゃ踊り（1回）
百鬼会	節分に鬼装束で来館（1回）
邦楽集団彩響	和太鼓・三味線演奏（1回）
ほのぼの会	踊りと歌（6回）
日曜大工ボランティアとんかち	餅つき補助（4日間）
運転ボランティアくるりん	餅つき補助（4日間）
舞民踊同好会	踊りと歌（2回）
マーラブア・ピギナースクラブ	フラダンス（1回）
モイス合唱団◎	合唱（2回）
若竹会・早島日本舞踊子供教室	踊り（1回）
若宮 OB 有志一座◎	フラダンス・傘踊り（2回）

※◎は新規協力団体

3. 訪問介護事業

〔1〕介護保険-訪問介護事業の実施

(1) 要件

- ・要介護状態になっても、利用者の望む暮らしができるよう、訪問により心身の状況に応じた身体介護（入浴、排泄、食事の援助等）や生活援助（調理、掃除、買い物等）、日常生活全般の援助を行った。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 17 件（昨年度比+3 件）
- ◆年間延べ利用者数： 509 人（昨年度比▲42 名）
- ◆年間延べ訪問回数： 5,893 回（昨年度比▲222 回）

(3) 利用状況及び収入の推移（要介護1～5の利用者）

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入
4月	41名	464回	410.25時間	1,503,900円
5月	43名	591回	505.51時間	1,770,580円

6月	45名	578回	489.50時間	1,869,870円
7月	44名	545回	483.20時間	1,652,700円
8月	45名	528回	461.26時間	1,732,250円
9月	43名	450回	388.06時間	1,447,950円
10月	44名	554回	478.49時間	1,673,890円
11月	42名	483回	420.50時間	1,497,020円
12月	42名	454回	391.00時間	1,379,160円
1月	43名	426回	356.90時間	1,334,510円
2月	39名	394回	321.00時間	1,260,910円
3月	38名	426回	351.75時間	1,382,250円
合計	509名	5,893	5,057.42時間	18,504,990円

〔2〕介護予防・日常生活支援総合事業の実施

(1) 要件

- ・介護予防・日常生活支援総合事業対象者を対象に、自立に向けた生活機能の向上を目的とした支援を行った。

(2) 利用者状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 4件（昨年度比 ▲14件）
- ◆年間延べ利用者数：167名（昨年度比 +54名）
- ◆年間延べ訪問回数：1,113回（昨年度比 +540回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入
4月	14名	79回	68.65時間	279,470円
5月	12名	71回	61.76時間	225,121円
6月	12名	74回	67.75時間	235,650円
7月	14名	90回	77.25時間	297,670円
8月	14名	86回	74.85時間	293,450円
9月	14名	96回	84.30時間	353,450円
10月	15名	101回	88.45時間	326,620円
11月	13名	111回	101.00時間	304,280円
12月	15名	96回	87.50時間	355,740円
1月	15名	105回	95.00時間	361,790円
2月	14名	93回	84.25時間	340,610円
3月	15名	111回	101.00時間	381,350円
合計	167名	1,113回	991.76時間	3,755,201円

〔3〕介護保険外サービス事業の実施

(1) 要件

- ・介護保険制度適用外で、日常生活に援助が必要とする方に、介護保険制度を同様のサービス（家事援助、身体介護）に加え、制度では行えないサービス（見守りを兼ねた話し相手等）を行い、安心して日常生活を営む事が出来るよう援助を行った。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 7件（昨年度比▲2件）
- ◆年間延べ利用者数： 82名（昨年度比▲11名）
- ◆年間延べ訪問回数： 217回（昨年度比▲18回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入
4月	6名	13回	12.5時間	34,243円
5月	5名	17回	15.5時間	38,302円
6月	7名	25回	23.0時間	60,907円
7月	10名	28回	24.0時間	61,182円
8月	7名	19回	14.5時間	38,676円
9月	7名	15回	13.0時間	32,450円
10月	7名	17回	14.5時間	36,036円
11月	7名	15回	15.0時間	36,729円
12月	6名	16回	14.5時間	35,816円
1月	8名	18回	16.0時間	41,877円
2月	7名	21回	20.5時間	52,195円
3月	5名	13回	11.5時間	28,677円
合計	82名	217回	194.5時間	497,090円

〔4〕障がい者総合支援-居宅介護事業の実施

(1) 要件

- ・総合支援法の趣旨に沿って、住み慣れた地域で安心して自立した日常生活ができるよう、障がいの特性・心身の状態に配慮しながら身体介護・家事援助・通院介助等の日常生活全般の援助を行った。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 0件（昨年度比▲3件）
- ◆年間延べ利用者数： 84名（昨年度比▲1名）
- ◆年間延べ訪問回数： 746回（昨年度比▲23回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）				収入
			身体	知的	精神	合計	
4月	8名	80回	12.75	48.00	19.25	73.00	250,050円
5月	7名	66回	11.00	45.25	18.50	74.75	231,720円
6月	7名	63回	14.75	43.00	12.00	69.75	226,180円
7月	7名	61回	15.75	42.00	13.00	70.75	222,530円
8月	7名	64回	14.00	44.50	13.75	72.25	231,990円

9月	6名	50回	11.75	40.50	3.00	55.25	189,260円
10月	7名	63回	13.75	44.50	11.00	69.25	226,940円
11月	7名	61回	12.00	46.00	13.00	71.00	226,590円
12月	7名	61回	17.75	42.00	10.05	70.25	218,170円
1月	7名	55回	11.25	42.00	11.50	64.75	205,390円
2月	7名	60回	15.00	42.50	11.50	69.00	217,410円
3月	7名	62回	13.75	38.00	11.75	63.50	238,140円
合計	84名	746回	163.50	518.25	148.30	823.50	2,684,370円

〔5〕障がい者総合支援-移動支援事業（外出支援）の実施

（1）要件

- ・総合支援法の趣旨に沿って、住み慣れた地域で自分らしく生活するために、安全に外出できるよう障がいの特性・心身の状態に配慮しながら移動（外出）支援を行った。

（2）利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者： 0名（昨年度比 0名）
- ◆年間延べ利用者数： 25名（昨年度比▲ 3名）
- ◆年間延べ訪問回数：208回（昨年度比+11回）

（3）利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）				収入
			身体	知的	精神	合計	
4月	2名	15回	22.5	—	—	22.5	33,750円
5月	2名	20回	30.0	—	—	30.0	45,000円
6月	2名	35回	35.0	—	—	35.0	52,500円
7月	2名	18回	30.5	—	—	30.5	46,500円
8月	2名	13回	21.5	—	—	21.5	32,250円
9月	2名	14回	22.0	—	—	22.0	33,000円
10月	2名	17回	32.0	—	—	32.0	48,000円
11月	2名	16回	21.0	—	—	21.0	44,250円
12月	2名	15回	23.0	—	—	23.0	34,500円
1月	2名	14回	21.0	—	—	21.0	31,500円
2月	2名	14回	22.5	—	—	22.5	33,750円
3月	3名	17回	27.5	—	—	27.5	43,750円
合計	25名	208回	308.5	—	—	308.5	478,750円